



Title	臨床哲学のメチエ 第7号 表紙・目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2000, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21785
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

臨床哲学のメチエ

臨床の知のネットワークのために

Vol.7 2000秋冬合併号

特集1 ソクラティク・ダイアローグ in ヨーロッパ	
ソクラティク・ダイアローグ 森芳周訳	4
「抨啓、ソクラテス者のみなさま」 寺田俊郎	20
特集2 ソ克拉ティク・ダイアローグの「臨床哲学的展開」	
共同的思考の産物と効果——神戸市看護大学でのワークショップから 堀江 剛	24
「責任とは、他人の突然の出現である。」——あるダイアローグの記録	31
「言葉」を行うこと 大北全俊	52
《資料》ダイアローグを嘗むためのいくつかの決めごと	54
街角の哲学——臨床哲学カフェ & バー報告 桑原英之	56
臨床哲学の余白	58

表紙デザイン 高橋 紜

総特集 ソクラティク・ダイアローグ



99年、私たち臨床哲学研究室のメンバーは、イギリスで開かれた「ソクラティク・ダイアローグ」のワークショップに初めて参加し、その面白さを身をもって味わうとともに、それをヨーロッパの様々な場所・機会で精力的に展開している人たちに大いに触発された。2000年夏にドイツで開催された第3回ソクラティク・ダイアローグ国際学会では、このグループ討議の方法を組織的に実施・探求している団体を中心に、ソクラティク・ダイアローグに関わる様々な人々と知り合い、多くの情報を入手することができた。

今回のメチエはページを大幅に増やし、このソクラティク・ダイアローグに関する情報をまとめて紹介する。

特集1では、ヨーロッパにおけるソクラティク・ダイアローグの活動に関する資料や報告を行う。特集2では、私たち臨床哲学研究室が試みているソクラティク・ダイアローグの模様を紹介するとともに、それに対する若干の考察を加えることにする。